2026年11月11日

各　位

会 社 名　　鹿 島 建 設 株 式 会 社
代 表 者　　代表取締役社長　桐生　雅文
（コード番号 1812　東証プライム・名証プレミア）
問合せ先　　財務本部主計部長　永江　真一
（TEL. 03-5544-1111（代表））

業績予想の修正に関するお知らせ

最近のセグメントごとの業績動向等を踏まえ、2026年5月14日に公表した2027年3月期（2026年4月1日～2027年3月31日）の連結業績予想及び個別業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年3月期通期業績予想の数値の修正

（１）連結業績予想　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益（注）
前回発表予想（A）	2,900,000	200,000	206,000	170,000	368円20銭
今回修正予想（B）	2,900,000	234,000	225,000	170,000	368円75銭
増減額（B－A）	0	34,000	19,000	0	
増減率（%）	0.0%	17.0%	9.2%	0.0%	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	3,067,275	240,780	240,420	177,334	379円81銭

（２）個別業績予想　　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益（注）
前回発表予想（A）	1,630,000	155,000	165,000	142,000	306円93銭
今回修正予想（B）	1,650,000	184,000	194,000	157,000	339円85銭
増減額（B－A）	20,000	29,000	29,000	15,000	
増減率（%）	1.2%	18.7%	17.6%	10.6%	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	1,710,084	177,641	190,064	146,921	314円04銭

（注）１株当たり当期純利益の前回発表予想（A）は、2026年8月5日に公表した数値を記載している。

２．修正の理由

連結業績につきましては、個別業績予想の上方修正を主因に、営業利益及び経常利益が前回発表予想を上回る見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益は、海外関係会社における開発物件の売却件数減少を踏まえ、前回発表予想と同額の 1,700 億円を予想しています。

個別業績予想は、建築事業における売上高増加を主因に、売上高の予想を上方修正しています。また、土木・建築両事業における売上総利益率の向上を見込み、利益も前回発表予想を上回ると予想しています。

海外関係会社に関しましては、建設事業が堅調に推移しており、米国流通倉庫開発事業における物件売却も概ね順調である一方、金利上昇や不動産市場の停滞に伴い開発物件の売却計画を変更したことから、海外全体の売却件数が減少し、親会社株主に帰属する当期純利益の減少を見込んでいます。為替レートは 2026 年 9 月時点の 1 米ドル 157 円 35 銭にて換算しています。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績等は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以　上